

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	インテリアデザイン						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	デザインコース:選択必修科目 建築工学・建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	インテリアエレメント(家具類)の中の椅子を主たる対象にして、それらのデザインや設計に関わる基礎知識を修得する。そして、修得したそれらの基礎知識をデザインや設計で実践できることを目標に置いている。家具類に関わる基礎的な人間工学及び人間の動作・行動の特性と設計上の留意点を理解するとともに、標準化の目的と家具類の日本工業標準について理解する。						
日程と内容	第1回 9/27 導入講義 授業の概要と進め方 成績評価方法 第2回 10/4 日本のインテリアデザイン(椅子)の歴史 明治初期 椅子の導入 第3回 10/11 椅子のモダンデザイン1 20世紀以降の椅子のモダンデザイン 第4回 10/18 椅子のモダンデザイン2 椅子のグッドデザインコレクション調査1 第5回 10/25 椅子のモダンデザイン3 椅子のグッドデザインコレクション調査2 第6回 11/1 椅子のモダンデザイン4 バウハウスと椅子のモダンデザイン 第7回 11/8 インテリアの人間工学1 人間工学の意味と人体寸法 第8回 11/15 インテリアの人間工学2 動作空間と家具への応用 第9回 11/16 インテリアの人間工学3 家具の寸法と性能 第10回 11/22 インテリアの標準化1 日本工業標準の目的 第11回 11/29 インテリアの標準化2 インテリア関連の日本工業標準 寸法と性能 第12回 12/6 人間の動作・行動の特性 ポピュレーションステレオタイプとデザイン 第13回 12/13 人間集合の特性1 パーソナルスペースとデザイン 第14回 12/20 人間集合の特性2 プライバシーとソシオベテル・ソシオフーガル 第15回 12/24 まとめ 過年度の期末試験の実施 回答・解説及び授業内容のまとめ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	・			
	臨時試験	・	部外評価	・			
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	・			
	課題	・	計	100%			
	演習	・					
授業到達目標の達成度	期末試験の受験者59名中58名が合格しており、授業の到達目標は十分に達成している。						
反省点	受講登録者の約1割が期末試験を受験していない。難解な授業はおこなっていないが、対策は考えたい。						
来年度の計画	開講なし。						
授業評価アンケートに対するコメント	特筆すべきコメントはなし。問14の授業評価は7.9。						
履修登録者数	68名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	58名	合格率	98%